

# 情報システム学科 [3年制/男女]

## AP

入学者の受け入れ方針  
アドミッションポリシー

情報システム学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 地元香川県を中心に、目指すIT業界の専門職業人として、発展に貢献する意欲の高い人
- 3 モノづくりに興味があり、世の中の暮らしをIT技術を活用してさらに便利にしたい人
- 4 業界で評価されるIT技術や高資格、高検定を取得し、即戦力として活躍したい人

## CP

教育課程編成・実施の方針  
カリキュラムポリシー

情報システム学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせる授業を行う

- 1 IT業界に必要な知識・技術を体系的に学び、国家資格が取得できる授業構成とする
- 2 他者理解・コミュニケーション能力を習得するため、アクティブラーニング形態の授業を実施する
- 3 ITに関する最新の知識・技術を実感できる、業界で活躍中のプロ講師による授業を実施する
- 4 チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

## DP

目指す人材像  
ディプロマポリシー

情報システム学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できるコンピュータ全般の知識を有し、システム開発技術を身につけている
- 2 システム設計・プログラミング・サーバー構築に関する専門知識・技能を習得し、なおかつそれを社会で発揮できる力を身につけている
- 3 常に新しいことに挑戦することで、課題解決に必要な柔軟な発想力を有し、様々なニーズに応える企画提案力を身につけている
- 4 多様性を理解し、自ら積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

	1 年 次		2 年 次		3 年 次	
	< 前期 >	< 後期 >	< 前期 >	< 後期 >	< 前期 >	< 後期 >
<b>到達目標</b>	国家試験である基本情報技術者試験の科目A免除試験の合格を目標に、IT (情報技術) に関する基礎的な知識 (コンピュータ概論、ネットワーク・セキュリティ概論、システム開発概論) を学ぶ。またプログラミングに必要なアルゴリズムの基礎を理解し、Java言語で実装し理解を深める。	国家試験である基本情報技術者試験の科目B試験の合格を目標に、前期に学んだIT (情報技術) の基礎から一歩進んだ知識 (データベース設計演習、ネットワーク演習) を学ぶ。また前期より継続して学んでいるJava言語を用いてテーマに基づくプログラムを実装することができる。	システム開発でよく利用されているツール (サーバ、データベース) を使ってアプリケーション開発の演習を行い基本的な実装力をつけ、個人レベルで課題制作を行う。また引き続き国家試験の合格を目指す。	前期に引き続きシステム開発でよく利用されているツール (サーバ、データベース) を使ってアプリケーション開発の演習を行い実装力を高めチームでの課題制作を行う。また引き続き国家試験の合格を目指す。	卒業年次としてこれまで学んだことをベースにチームで卒業研究に取り組む。前期はそのスタートとしてチーム制作手法を詳しく学ぶ (アジャイル開発演習)。また新しい技術 (AIプログラミング、AWSクラウド) を学び、実装の幅を広げる。	卒業研究のチームでの制作を通じてシステムの実装力を高めるとともに、チーム内でのコミュニケーションを通じて社会性を高める。また新しい技術 (AIプログラミング、AWSクラウド) を学び、実装の幅を広げる。
<b>専門分野</b>	講義 コンピュータ概論 講義 システム開発概論 講義 ネットワーク・セキュリティ概論 演習 アルゴリズム I 演習 Java I 演習 データベース基礎 I	講義 情報処理講座 I 演習 ネットワーク演習 演習 アルゴリズム II 演習 Java II 演習 データベース設計演習 演習 インターネット実習基礎	講義 情報処理講座 II 演習 IoT演習 I 演習 UML 演習 データベース開発演習 演習 Webアプリケーション演習 演習 JavaScript&Ajax I 演習 専攻 I	講義 情報処理講座 III 演習 IoT演習 II 演習 ログ解析演習 演習 サーバ構築演習 演習 モバイルアプリケーション 演習 JavaScript&Ajax II 演習 専攻 II	演習 AIプログラミング言語 演習 アジャイル開発演習 演習 卒業研究 (企画・設計) 演習 AWSクラウド演習 演習 RPA演習 演習 専攻 III	演習 AIプログラミング演習 演習 卒業研究 演習 UIデザイン 演習 AWSクラウド応用 演習 専攻 IV
<b>教養分野</b>			演習 ビジネスプレゼン演習 I	演習 ビジネスプレゼン演習 II 講義 社会人基礎講座 I	講義 ビジネス文書 講義 社会人基礎講座 II	
<b>スケジュール</b>	4月 ●入学前学習 ●入学式 ●新入生オリエンテーション 5月 6月 ●サーティファイ情報処理能力認定試験3級 ●基本情報技術者試験科目A免除試験 7月 ●校内プログラミングハッカソン① ●穴吹祭 8月 ●夏休み 9月 ●サーティファイ情報処理能力認定試験2級 ●基本情報技術者試験 ●J検 (情報システム試験) ●スポーツ大会	10月 11月 12月 ●校内プログラミングハッカソン② ●冬休み 1月 2月 ●サーティファイWebクリエイター能力認定試験 ●サーティファイJava能力認定試験3級/2級 ●J検 (情報システム試験) 3月 ●春休み	4月 ●応用情報技術者試験 5月 ●基本情報技術者試験 6月 7月 ●校内プログラミングハッカソン③ ●穴吹祭 8月 ●夏休み 9月 ●スポーツ大会	10月 ●応用情報技術者試験 11月 ●IT研修 ●基本情報技術者試験 12月 ●校内プログラミングハッカソン④ ●冬休み 1月 2月 ●LPIC ●校内IT企業セミナー 3月 ●春休み	4月 ●応用情報技術者試験 5月 ●基本情報技術者試験 6月 7月 ●校内プログラミングハッカソン⑤ ●穴吹祭 8月 ●夏休み 9月 ●スポーツ大会	10月 ●応用情報技術者試験 11月 ●基本情報技術者試験 12月 ●冬休み 1月 2月 3月 ●卒業式

## 目指す資格

- 基本情報技術者試験 [国家資格]
- 応用情報技術者試験 [国家資格]
- サーティファイ主催 Javaプログラミング能力認定試験
- Linux技術者認定試験 (LPIC)

## 主な科目内容

コンピュータ概論	基本情報技術者試験合格に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する。
ネットワーク・セキュリティ概論	基本情報技術者試験合格に必要な情報技術、特にネットワーク、情報セキュリティ分野の基本的な知識を習得する。
システム開発概論	基本情報技術者試験合格に必要な、コンピュータシステムの開発技術やマネジメント知識を習得する。
アルゴリズム I・II	プログラミングに必要な手順や計算法であるアルゴリズムについて学習し、基本情報技術者試験の科目 (フローチャート・擬似言語) の理解度を高める。 現在広く利用されているJava言語を習得する。アルゴリズムの基本 (順次、分岐、繰り返し) を踏まえたプログラミングを習得する。本格的なプログラミングに必須となるオブジェクト指向を理解し、例外処理等も考慮した開発技術まで習得する。
Java I・II	基本情報技術者試験にも出題されるデータベース操作言語であるSQL文の基本的な使い方を習得する。
データベース基礎 I	システムの構築・開発で必ずと言っていいほど必要となるデータベースの設計の考えを基本から学ぶ。また実際に構築し運用技術を学ぶ
データベース設計演習	1年次に学んだデータベースに対しデータの検索、追加、更新、削除をjavaプログラムから行う方法を習得する。
データベース開発演習	Webサイトを構築するために必須となる言語を学び、静的なWebサイトの構築技術を習得する。
インターネット実習基礎	システムエンジニアとして必要なネットワーク技術の基本を習得する。
ネットワーク演習	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策を行う。
情報処理講座 I・II・III	LinuxOSのインストールと各種サーバーの構築手法を学ぶ。
サーバ構築演習	ログ解析ツールであるSplunkの利用方法を理解するとともに、セキュリティエンジニアの業務の理解を深めSoC業務への関心を高める。
ログ解析演習	オブジェクト指向の基本概念を理解する。UMLダイアグラムを理解する。プログラムを設計するための指標とする。
UML	Webアプリケーションを作成するために利用されているJavaScript言語を学習する。特にWebブラウザとWebサーバ間のデータ連携によく利用されているAjax通信技術を中心に学ぶ。また、各種フレームワークを利用した効率の良い制作技術も習得する。
JavaScript&Ajax I・II	PHPを使ったWebアプリケーションを作成するスキルを養う。MySQLを使ってSQLを学習する。HTTPの基本的な仕組みについて理解する。
Webアプリケーション演習	マイクログコンピュータを用いて電気回路の基礎を学習する。発展した電子回路を組み立てインターネットへの情報発信を学習する。
IoT演習 I・II	ハイブリッドアプリ開発環境であるMonacaを利用し、スマートフォンが持つカメラ、GPS、API、各種センサーを利用したアプリケーションの作成技術を学習する。
モバイルアプリケーション	スパイラルモデル、アジャイル、スクラムでの開発手法に基づいたシステム開発を行う。開発手法を通じて、開発チームで必須のコミュニケーション能力を養う。
アジャイル開発演習	Python言語の基礎を学ぶ。他言語との違いや得意分野を学ぶ。またPython言語の様々なライブラリを活用して機械学習の基礎を習得する。
AIプログラミング言語・演習	Python言語からExcelを操作する手法を理解しRPAの基本を習得する。
RPA演習	オーソドックスなWebアプリケーションの実行環境をAWS (Amazon Web Services) に構築する手法を習得する。またAWS認定試験の合格を目指す。
AWSクラウド演習・応用	スマートフォンアプリやWebサイトに求められる使いやすいユーザーインターフェースについて理解し、卒業研究で制作中のアプリケーションに活かす。
UIデザイン	卒業研究は提示されたテーマをITで実現することを目的とします。前期は実現する具体的なシステムの内容を企画する。
卒業研究 (企画・設計)	前期に企画した内容を元にシステムの制作を完成する。プロジェクトチームの一員として、協働してより良いシステム開発を目指す。
卒業研究	就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する。自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらうために必要な表現力を高める。
社会人基礎講座 I・II	データサイエンス専攻、ドローン・ロボット専攻、e-sports専攻から選択する
専攻 I~専攻 IV	



# AIテクノロジー学科 [3年制/男女]

## AP

### 入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

AIテクノロジー学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 地元香川県を中心に、目指すIT業界の専門職業人として、発展に貢献する意欲の高い人
- 3 人工知能、機会学習などの最先端技術に対して熱意と探究心を持ち、STEM分野に興味を持つ人
- 4 業界で評価されるIT技術や高資格、高検定を取得し、即戦力として活躍したい人

## CP

### 教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

AIテクノロジー学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせる授業を行う

- 1 IT業界に必要な知識・技術を体系的に学び、国家資格が取得できる授業構成とする
- 2 他者理解・コミュニケーション能力を習得するため、アクティブラーニング形態の授業を実施する
- 3 AI技術が社会に与える影響を理解し、倫理的な観点から技術を利用できる専門家を育成する
- 4 チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

## DP

### 目指す人材像

ディプロマポリシー

AIテクノロジー学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できるコンピュータ全般の知識を有し、システム開発技術を身につけている
- 2 システム設計・プログラミング・AIに関する専門知識・技能を習得し、なおかつそれを社会で発揮できる力を身につけている
- 3 常に新しいことに挑戦することで、課題解決に必要な柔軟な発想力を有し、様々なニーズに応える企画提案力を身につけている
- 3 多様性を理解し、自ら積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

	1年次		2年次		3年次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
<b>到達目標</b>	基本情報技術者試験(国家試験)の午前免除試験の合格を目標に、ITに関する基礎的な知識(コンピュータ概論、ネットワーク概論、システム開発概論)を学ぶ。またプログラミングに必要なアルゴリズムの知識を理解し、Java言語で実装理解を深める。	基本情報技術者試験(国家試験)の午後試験の合格を目標に、前期に学んだITの基礎から一歩進んだ知識(ネットワーク演習、データベース設計演習)を学ぶ。また前期より継続して学んでいるJava言語を用いてテーマに基づくプログラムを実装することができる。	AIを学ぶ上で必要となる基礎理論を学習する。システム開発でよく利用されているツール(サーバー、データベース)を使ってWebアプリケーション開発の演習を行い基本的な実装力を身につける。	前期に引き続きAIの基礎理論、機械学習の基礎を学ぶ。また、IoT技術を学び機器から得られたデータを用いて機械学習の実践を行いAIの理解を深めていく。	2年次から引き続き、IoT技術と機械学習について学ぶ。また、システム開発でよく利用されているAWSクラウド環境を使って、アプリケーション開発の演習を行い実装力を高める。	卒業研究を通して、世の中にある様々なデータベースから機械学習、深層学習の知識を活かす研究をする。また、システムの実装力を高めるとともに、チーム内でのコミュニケーションを通じて社会性を高める。
<b>カリキュラム</b>	<b>専門分野</b> 講義 ネットワーク・セキュリティ概論 演習 ネットワーク演習 演習 インターネット実習基礎 演習 JavaScript&Ajax I 演習 Webアプリケーション演習 講義 UML 演習 Java I 演習 Java II 演習 AIプログラミング言語 演習 データベース開発演習 講義 情報処理講座 II 演習 IoT演習 I 演習 IoT演習 II 演習 専攻授業 I (データサイエンス) 演習 専攻授業 II (データサイエンス) 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV 演習 AWSクラウド演習 演習 AWS AI演習 I 演習 AWS AI演習 II 演習 機械学習 II 演習 深層学習入門 演習 卒業研究(企画・設計) 演習 デザイン思考 演習 RPA演習 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV	<b>専門分野</b> 演習 ネットワーク演習 演習 インターネット実習基礎 演習 JavaScript&Ajax I 演習 Webアプリケーション演習 講義 UML 演習 Java II 演習 AIプログラミング言語 演習 データベース開発演習 講義 情報処理講座 II 演習 IoT演習 II 演習 専攻授業 II (データサイエンス) 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV 演習 AWSクラウド演習 演習 AWS AI演習 II 演習 深層学習入門 演習 卒業研究 演習 デザイン思考 演習 RPA演習 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV	<b>専門分野</b> 演習 JavaScript&Ajax II 演習 Webアプリケーション演習 講義 UML 演習 AIプログラミング言語 演習 データベース開発演習 講義 情報処理講座 III 演習 IoT演習 II 演習 専攻授業 II (データサイエンス) 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV 演習 AWSクラウド演習 演習 AWS AI演習 I 演習 AWS AI演習 II 演習 機械学習 I 演習 深層学習入門 演習 卒業研究 演習 デザイン思考 演習 RPA演習 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV	<b>専門分野</b> 演習 JavaScript&Ajax I 演習 Webアプリケーション演習 講義 UML 演習 AIプログラミング言語 演習 データベース開発演習 講義 情報処理講座 II 演習 IoT演習 I 演習 IoT演習 II 演習 専攻授業 I (データサイエンス) 演習 専攻授業 II (データサイエンス) 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV 演習 AWSクラウド演習 演習 AWS AI演習 I 演習 AWS AI演習 II 演習 機械学習 II 演習 深層学習入門 演習 卒業研究 演習 デザイン思考 演習 RPA演習 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV	<b>専門分野</b> 演習 JavaScript&Ajax I 演習 Webアプリケーション演習 講義 UML 演習 AIプログラミング言語 演習 データベース開発演習 講義 情報処理講座 III 演習 IoT演習 II 演習 専攻授業 II (データサイエンス) 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV 演習 AWSクラウド演習 演習 AWS AI演習 I 演習 AWS AI演習 II 演習 機械学習 I 演習 深層学習入門 演習 卒業研究 演習 デザイン思考 演習 RPA演習 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV	<b>専門分野</b> 演習 JavaScript&Ajax I 演習 Webアプリケーション演習 講義 UML 演習 AIプログラミング言語 演習 データベース開発演習 講義 情報処理講座 III 演習 IoT演習 II 演習 専攻授業 II (データサイエンス) 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV 演習 AWSクラウド演習 演習 AWS AI演習 I 演習 AWS AI演習 II 演習 機械学習 II 演習 深層学習入門 演習 卒業研究 演習 デザイン思考 演習 RPA演習 演習 専攻授業 III 演習 専攻授業 IV
<b>教養分野</b>				講義 社会人基礎講座 I 講義 社会人基礎講座 II 講義 ビジネス文書	講義 社会人基礎講座 I 講義 社会人基礎講座 II 講義 ビジネス文書	講義 社会人基礎講座 I 講義 社会人基礎講座 II 講義 ビジネス文書
<b>スケジュール</b>	●入学前学習 ●入学式 ●新入生オリエンテーション ●校内プログラミングハッカソン① ●サーティファイ情報処理能力認定試験3級 ●基本情報技術者科目A免除試験 ●穴吹祭 ●夏休み ●サーティファイ情報処理能力認定試験2級 ●基本情報技術者試験 ●J検(情報システム試験) ●スポーツ大会	●校内プログラミングハッカソン② ●冬休み ●サーティファイWebクリエイター能力認定試験 ●Pythonエンジニア認定試験 ●J検(情報システム試験) ●春休み	●応用情報技術者試験 ●基本情報技術者試験 ●校内プログラミングハッカソン③ ●穴吹祭 ●夏休み ●スポーツ大会	●応用情報技術者試験 ●IT研修 ●基本情報技術者試験 ●校内プログラミングハッカソン④ ●冬休み ●校内IT企業セミナー ●AWSクラウドプラクティショナー ●春休み	●応用情報技術者試験 ●基本情報技術者試験 ●AWSソリューションアーキテクト ●校内プログラミングハッカソン⑤ ●穴吹祭 ●夏休み ●G検定 ●スポーツ大会	●応用情報技術者試験 ●基本情報技術者試験 ●冬休み ●卒業式

## 目指す資格

- 基本情報技術者試験 [国家資格]
- 応用情報技術者試験 [国家資格]
- Pythonエンジニア認定基礎試験
- Pythonエンジニア認定データ分析試験
- G (ジェネラリスト) 検定
- AWS認定クラウドプラクティショナー
- AWS認定ソリューションアーキテクト- アソシエイト

主な科目内容	
コンピュータ概論	基本情報技術者試験合格に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する。
ネットワーク・セキュリティ概論	基本情報技術者試験合格に必要な情報技術、特にネットワーク・セキュリティ分野の基本的な知識を習得する
システム開発概論	基本情報技術者試験合格に必要な、コンピュータシステムの開発技術やマネジメント知識を習得する。
アルゴリズム I・II	プログラミングに必要な手順や計算法であるアルゴリズムについて学習し、基本情報技術者試験の科目(フローチャート・擬似言語)の理解度を高める。
情報処理講座 I・II・III	国家試験対策を中心とした対策講座。
Java I・II	世界中の基幹システムで使われているJAVA言語を習得する。基本プログラミングからオブジェクト指向プログラミングを実践しながら学ぶ。
ネットワーク演習	システムエンジニアとして必要なネットワーク技術の基本を習得する。
インターネット実習基礎	Webサイトを構築するために必須となる言語を学び、静的なWebサイトの構築技術を学習する。
データベース基礎	基本情報技術者試験のデータベース分野を理解する。特にSQLを中心に学ぶ。
データベース設計演習	基本情報技術者試験のデータベース分野を理解する。特にSQLを中心に学ぶ。
データベース開発演習	MySQLやPostgreなどのデータベースの構築方法を習得する。また、SQL言語のDDLとDMLについてマスターする。
AIと社会	AI概念の理解だけでなく、AIを活用した戦略、AIが社会にどのような変化をもたらすかについて学習する。また、機械学習やディープラーニングの仕組みや、人工知能ビジネスが必ずぶつかる「法律の壁」についても学習する。
AIプログラミング言語・演習 I	AI分野で広く利用されているPython言語を習得する。アルゴリズムの基本(順次・分岐・繰り返し)を踏まえたプログラミングを習得する。また、データ分析に利用される標準ライブラリの利用についても学習する。
Webアプリケーション演習	Webアプリ開発言語のPHPを基本プログラミングからフレームワークを活用したプログラミング技術を習得する。
JavaScript&Ajax I・II	Webアプリケーションを作成するために利用されているJavaScript言語を学習する。特にWebブラウザとWebサーバ間のデータ連携によく利用されているAjax通信技術を中心に学ぶ。また、各種フレームワークを利用した効率の良い制作技術も習得する。
機械学習 I・II	IBM社のWatson等のクラウドサービスで提供されている学習済みAIを利用して、画像認識などを行うプログラムを作成する。
IoT演習 I・II	電気回路の基礎を学習する。Arduinoのプログラム基礎を学習する。
UML	オブジェクト指向分析や設計するための記法を学ぶ。
G検定対策	JDLA Deep Learning for GENERAL (G検定)の対策を行う。
RPA演習	コンピュータ上で行われる業務プロセスや作業を人に変わり自動化する技術を習得する。
深層学習入門	IBM社のWatson等のクラウドサービスで提供されている深層学習の機能を使い、画像分類をするAIサービスを作成する。
AWSクラウド演習	様々なサービスをクラウド上で提供しているAWSを利用したAIサービスの構築技術を習得し、その技術認定資格であるAWSクラウドプラクティショナー、AWSソリューションアーキテクトを取得する。
AWS AI演習 I・II	AWS上で機械学習プログラミングを学習する
人工知能の法と倫理	人工知能やロボット、一般的に先端的な情報技術に関連する倫理的・法的な問題を理解するとともに、世界での動向についても調べ学習を行う。
デザイン思考	デザイン(設計)を行う際のプロセスを用いてユーザーの課題を定義し、解決策を見いだすマインドセットを実践を通して学習する。
動画制作	動画制作の流れ「企画・構成、撮影、編集、公開」の「企画・構成」について学びながら、効率的な動画制作方法を学習する。
専攻 I・II・III・IV	データサイエンス専攻・ドローンロボット専攻・eSport専攻から選択 ※AI2年次はデータサイエンス専攻が必須
卒業研究	チームでAIを使ったシステムの開発を行う。プロジェクトチームの一員として、協働してより良いシステム開発を目指す。
社会人基礎講座 I・II・III	就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する。自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらうために必要な表現力を高める。
ビジネスプレゼン演習	様々な演習に取り組み、資料の作成や実演を行うことで、プレゼンターとしてのトレーニングをくり返すとともに、聴き手が様々なプレゼンテーションをどのように受け取るかを体感しながら、伝わり、動かすプレゼンテーションを身につける。
ビジネス文書	社内や取引先との間で交わされる報告書、礼状など、様々なビジネスシーンで使われるビジネス文書作成技術や知識を学習する。

# ネットワークセキュリティ学科 [2年制/男女]

## AP

入学者の受け入れ方針  
アドミッションポリシー

ネットワークセキュリティ学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 情報知識・技術を修得するために、高等学校の教育内容を幅広く学修している人
- 3 ネットワーク・セキュリティに興味があり、安心安全なネットワーク環境を構築し、さらに便利にしたい人
- 4 情報インフラとしてのネットワーク・セキュリティ業界の専門職業人として、発展に貢献する意欲のある人

## CP

教育課程編成・実施の方針  
カリキュラムポリシー

ネットワークセキュリティ学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 ネットワーク・セキュリティ業界に必要な知識・技術を体系的に学び、国家資格が取得できる授業構成とする
- 2 他者理解・コミュニケーション能力を習得するため、アクティブラーニング形態の授業を実施する
- 3 ネットワーク・セキュリティに関する最新の知識・技術を実感できる、業界で活躍中のプロ講師による授業を実施する
- 4 チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

## DP

目指す人材像  
ディプロマポリシー

ネットワークセキュリティ学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できるコンピュータ全般の知識を有し、ネットワーク・セキュリティ技術を身につけている
- 2 ネットワーク設計、サーバー構築、情報セキュリティに関わる専門知識・技能を習得し、なおかつそれを社会で発揮できる力を身につけている
- 3 常に新しいことに挑戦することで、情報インフラを支えるために必要な柔軟な発想力を有し、想定されるあらゆる事態に応える企画提案力を身につけている
- 4 多様性を理解し、自ら積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

## 目指す資格

- 基本情報技術者試験 [国家資格]
- 情報セキュリティマネジメント試験 [国家資格]
- 情報処理安全確保支援士試験 [国家資格]
- CompTIA Security+
- CCNA
- J検 (情報システム試験)

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
<b>到達目標</b>	ITエンジニアに必要な基礎的な知識と技術を、国家試験「基本情報技術者」の取得レベルまで高める。サーバーとネットワークの基礎的な技術を習得し、利用できるようになる。	サーバーでほとんどのサービスを設定、運用できるようになり、複数のネットワーク機器を使用したネットワーク設計が行えるようになる。双方のセキュリティ知識も習得する。	様々なサイバー攻撃の具体的な手法を知り、その防御方法を習得する。サーバーとネットワークを組み合わせた、より実践的なセキュリティの知識を身につける。	1年次に習得したサーバー・ネットワーク・セキュリティの技術を組み合わせ、最適なインフラシステムを提案できる。稼働しているシステムの問題発生時に適切に対応する手法を習得する。
<b>カリキュラム</b>	<p>講義 コンピュータ概論</p> <p>講義 アルゴリズム I</p> <p>講義 システム開発概論</p> <p>演習 ネットワーク・セキュリティ概論</p> <p>演習 Java I</p>	<p>講義 情報処理講座 I</p> <p>講義 アルゴリズム II</p> <p>演習 インターネット実習</p> <p>演習 サーバー構築演習</p> <p>演習 ログ解析演習</p> <p>演習 ネットワーク演習基礎</p> <p>講義 社会人基礎講座 I</p>	<p>演習 セキュアプログラミング演習 I</p> <p>演習 サイバー攻撃・防御演習</p> <p>演習 ネットワーク演習応用</p> <p>演習 情報セキュリティ</p> <p>演習 AWSクラウド演習</p> <p>演習 専攻 I</p> <p>講義 社会人基礎講座 II</p>	<p>演習 セキュアプログラミング演習 II</p> <p>演習 インシデント演習</p> <p>演習 セキュリティ実践演習</p> <p>演習 ビッグデータ活用演習</p> <p>演習 専攻 II</p>
<b>スケジュール</b>	<p>4月 ●入学前学習 ●入学式 ●新入生オリエンテーション</p> <p>5月</p> <p>6月 ●基本情報技術者試験科目A免除試験</p> <p>7月 ●穴吹祭</p> <p>8月 ●夏休み</p> <p>9月 ●J検 (情報システム試験) ●スポーツ大会</p>	<p>10月</p> <p>11月 ●IT研修 ●基本情報技術者試験</p> <p>12月 ●学内ミニトラブルシューティングコンテスト (競技参加) ●冬休み</p> <p>1月</p> <p>2月 ●学内トラブルシューティングコンテスト (競技参加) ●J検 (情報システム試験)</p> <p>3月 ●春休み</p>	<p>4月</p> <p>5月 ●情報セキュリティマネジメント試験</p> <p>6月</p> <p>7月 ●穴吹祭</p> <p>8月 ●夏休み</p> <p>9月 ●スポーツ大会</p>	<p>10月 ●情報処理安全確保支援士</p> <p>11月</p> <p>12月 ●学内ミニトラブルシューティングコンテスト (運営) ●冬休み</p> <p>1月</p> <p>2月 ●学内トラブルシューティングコンテスト (運営)</p> <p>3月 ●卒業式</p>

主な科目内容	
コンピュータ概論	基本情報技術者試験合格に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する。
アルゴリズム I・II	プログラミングに必要な手順や計算法であるアルゴリズムについて学習し、基本情報技術者試験の科目(フローチャート・疑似言語)の理解度を高める。
システム開発概論	基本情報技術者試験合格に必要な、コンピュータシステムの開発技術やマネジメント知識を習得する。
サーバー構築演習	代表的なサーバーOS「Linux」の操作方法を学び、内部サーバー、外部サーバーそれぞれに適したサービス・セキュリティ対策の構築・設定方法を習得する。
ネットワーク演習 基礎・応用	国家試験のネットワーク分野やCCNAの取得を目指すだけでなく、実際にネットワーク機器を用いて高度なネットワーク技術を習得し、設計・トラブルシュートを的確に行う力を身につける。
情報処理講座 I	国家資格(基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント)の分野別対策を行い、問題解答を通して、応用力を習得する。
情報セキュリティ	基本的なネットワークやセキュリティに関する知識や技術を学び、国家資格(基本情報技術者)やCompTIA Security+の取得ができるレベルを目指す。
セキュアプログラミング演習 I・II	PHPを使ったWebアプリケーションの作成手法を学び、様々な既知の脆弱性に対応できるセキュリティの高いプログラミング技術を習得する。
サイバー攻撃・防御演習	仮想環境を使って、安全な環境下でXSSやSQLインジェクションなど、様々な攻撃手法とその防御方法を実践的に習得する。
インシデント演習	ネットワークとサーバーの構築技術を組み合わせ、総合的なシステムを構築し、システム運用時に起こる様々なインシデントを発見し、現象を把握して報告する流れを習得する。
ビッグデータ活用演習	マーケティングの基本、データ分析・整理手法の基礎を学習し、グループごとにオープンデータを収集、分析する。分析後、得た問題点や改善点を発表する。
AWSクラウド演習	AIをはじめ様々なサービスをクラウド上で提供しているAWSを利用したAIサービスの構築技術を習得し、その技術認定資格であるAWSクラウドプラクティショナー、AWSソリューションアーキテクトを取得する。
セキュリティ実践演習	習得したネットワーク・サーバー構築・セキュリティの技術を活かし、様々な問題を設問し、学内トラブルシューティングコンテストの企画・環境構築・準備・開催までを行う。
社会人基礎講座 I・II	就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する。自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらうために必要な表現力を高める。



## 2021年度 卒業生就職先一覧 (順不同)

就職先	所在地	就職先	所在地
穴吹コンピュータカレッジ 情報システム学科		穴吹コンピュータカレッジ ネットワークセキュリティ学科	
株式会社エレパ	高知県	株式会社都築ソフトウェア	東京都
ジャパニクス株式会社	神奈川県	株式会社高松ホットスタンプ	香川県
ナビオコンピュータ株式会社	東京都	株式会社サンブレラ	岡山県
丸善織物株式会社	香川県	サヌキ畜産フーズ株式会社	香川県
山田電建株式会社	香川県	パナソニックSSサービス株式会社 西日本支社	香川県
有限会社KRKシステム	香川県	株式会社IIJプロテック	東京都
株式会社アスプコミュニケーションズ	富山県	株式会社コスモス薬品	香川県
株式会社テクノプロ(テクノプロ・IT社)	香川県	株式会社フェイスグループ	香川県
株式会社トスパックシステムズ	香川県	株式会社ロジック	香川県
株式会社メイテックフィルダーズ	東京都	株式会社穴吹カレッジサービス 穴吹デザインプラス	香川県
株式会社ロジック	香川県	株式会社日本プレースメントセンター	東京都
株式会社香川ダイハツモーターズ	香川県	株式会社百十四システムサービス	香川県
株式会社日本テクニクス	香川県	株式会社富士鋼材スチールセンター	香川県
中央コンピューター株式会社	香川県	航空自衛隊一般曹候補生	東京都
東洋工業株式会社	香川県	扶桑電通株式会社	香川県
扶桑電通株式会社	香川県		

## 2022年度 卒業生就職先一覧 (順不同)

就職先	所在地	就職先	所在地
穴吹コンピュータカレッジ 情報システム学科		穴吹コンピュータカレッジ ネットワークセキュリティ学科	
株式会社アイ・エス・アイソフトウェア	大阪府	株式会社IIJエンジニアリング	東京都
中央コンピューター株式会社	香川県	クラウドエース株式会社	大阪府
ウェブシステムテクノロジー株式会社	香川県	株式会社Polestar-ID	東京都
株式会社ミトラ	香川県	株式会社トスパックシステムズ	香川県
株式会社S.E.C	東京都	株式会社日本テクニクス	香川県
株式会社百十四システムサービス	香川県		
株式会社ドリームキャリア	東京都		
株式会社コサウェル	静岡県		
株式会社三好製作所	香川県		

## 2023年度 卒業生就職先一覧 (順不同)

就職先	所在地	就職先	所在地
穴吹コンピュータカレッジ 情報システム学科		穴吹コンピュータカレッジ ネットワークセキュリティ学科	
株式会社ソフトウェア・サービス	大阪府	富士通エフサス西日本カスタマサービス株式会社	大阪府
YKK AP株式会社 四国支社	香川県	トモニホールディングス株式会社	香川県
プライマル株式会社	東京都	株式会社クイックサーブ	東京都
トモニホールディングス株式会社	香川県	NDIソリューションズ株式会社	東京都
株式会社リーディ	大阪府	株式会社アルファシステムズ	神奈川県
株式会社エイジェック	香川県	三井物産セキュアディレクション株式会社	東京都
株式会社ドリームキャリア	東京都	アンダーデザイン株式会社	大阪府
株式会社アルプス技研	東京都	株式会社IIJエンジニアリング	東京都
扶桑電通株式会社	東京都	株式会社四電工	香川県
株式会社共立ソリューションズ	東京都	株式会社百十四システムサービス	香川県
株式会社シスナビ	東京都	国土交通省 四国地方整備局	香川県
カスタマシステム株式会社	東京都		
穴吹コンピュータカレッジ AIテクノロジー学科			
株式会社アイタイズ	東京都		
株式会社アルモ	香川県		
株式会社ユタカ	香川県		
株式会社日本テクニクス	香川県		
コンピューターマネージメント株式会社	大阪府		
株式会社ハイマックス	神奈川県		
株式会社トスパックシステムズ	香川県		
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都		
株式会社都築ソフトウェア	東京都		
株式会社ロジック	香川県		
株式会社ソフトウェアサービス	東京都		
アクサス株式会社	香川県		